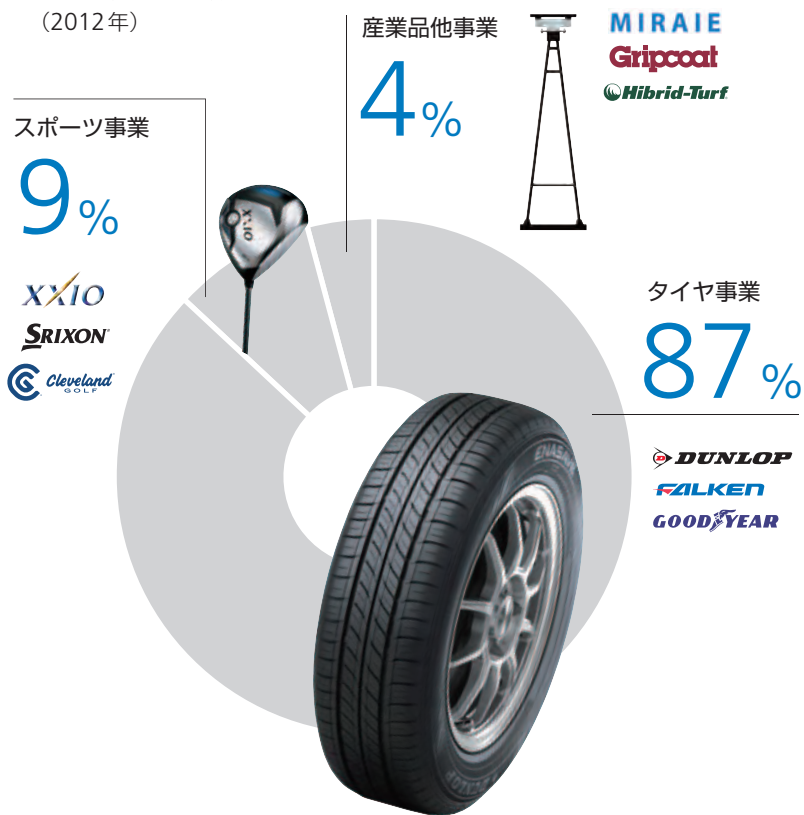
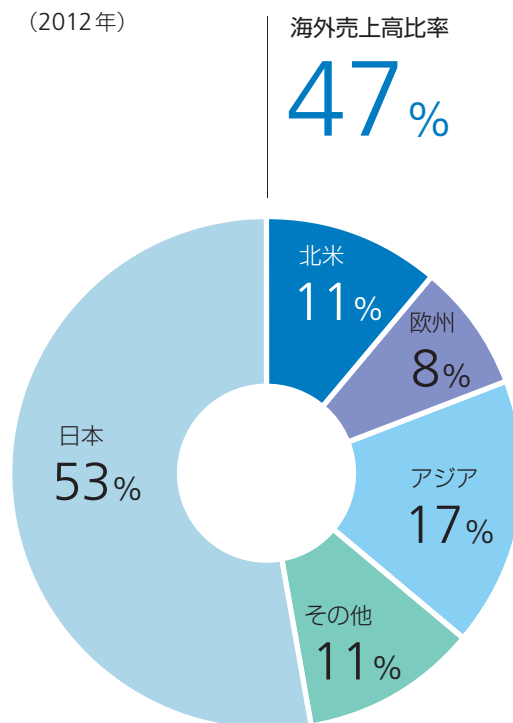


住友ゴムグループは、タイヤ、スポーツ、産業品の三つの分野で事業を展開しています。タイヤ事業では、国内の低燃費タイヤ市場で高い支持を獲得しているほか、アジアを中心にグローバル展開を進めています。スポーツ事業では、優れた性能を誇るゴルフ用品やテニス用品を開発し、複数のブランドを地域や商品に応じて展開しています。産業品他事業では、成長が期待される制振ダンパーや医療用ゴム栓の拡販を図っています。2012年には、2020年を目標年度とする長期ビジョン「VISION 2020 (ビジョン ニセンニジュウ)」を策定し、“Go for NEXT”のスローガンのもと、次なる成長に向けた新たな挑戦を開始しました。

■ 事業別売上高構成比 (2012年)



■ 地域別売上高構成比 (2012年)



沿革
1909

英国ダンロップ社の工場を誘致、日本初の近代的ゴム工場として創業。自転車用タイヤ、人力車タイヤ(ソリッド)の生産開始

1954

日本初のチューブレスタイヤを開発

1966

日本初のラジアルタイヤ「SP3」の生産開始

1986

米ダンロップ社を買収

1913

自動車用タイヤの生産開始。「自動車タイヤ国産第一号」誕生

1963

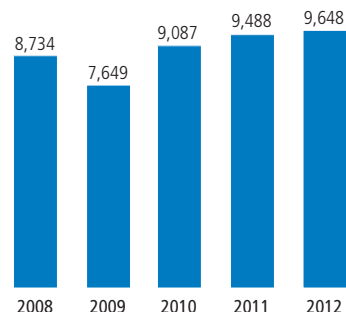
住友の経営となる。「住友ゴム工業株式会社」に社名変更

1984

英独仏の6工場およびタイヤ技術中央研究所を買収

■ タイヤ販売本数

9,648万本



2012年のタイヤ販売本数は、海外市販用タイヤは前年に比べて減少しましたが、国内新車用・国内市販用・海外新車用タイヤが伸長し、合計では前年に比べて160万本増加しました。

■ 低燃費タイヤ国内販売本数シェア

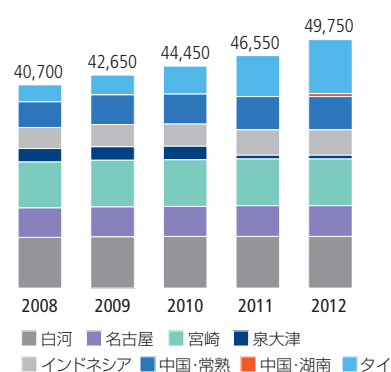
No.1

(株)日本能率協会総合研究所が調査した全国カー用品量販店上位2社における2012年低燃費タイヤ*のメーカー別販売本数シェアで、ダンロップは36%を獲得し、3年連続第1位となりました。

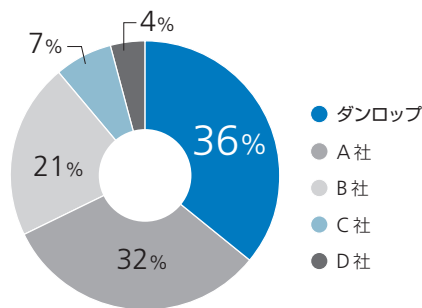
*一般社団法人日本自動車タイヤ協会(JATMA)が定めた、転がり抵抗性能とウエットグリップ性能の基準を満たすタイヤ

■ タイヤ生産能力

49,750 トン/月



2012年は、中国で2カ所目となる湖南工場が生産を開始したほか、タイ工場で能力増強を行いました。この結果、タイヤ生産能力は前期比7%増加し、海外生産比率は47%となりました。



目次

02 2012年ハイライト

04 社長メッセージ

06 特集

長期ビジョン 「VISION 2020」

08 新市場への挑戦

10 飽くなき技術革新

12 新分野の創出

14 営業の概況

14 タイヤ事業

16 スポーツ事業

18 産業品他事業

20 研究開発活動および知的財産戦略

22 CSR(企業の社会的責任)への取り組み

24 コーポレート・ガバナンス

27 取締役、監査役および執行役員

28 財務セクション

54 グローバルネットワーク

55 投資家情報

将来の見通しに関する注意事項

本アニュアルレポートに記載されている当社の計画、見積り、戦略、理念、業績の見通しおよびその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しです。これらは現在入手可能な情報に基づいた予想および期待であり、実際の業績は、さまざまなリスク・不確実な要素により、大きく異なる可能性があります。したがって、読者の皆さまにおかれましては、これらの将来の見通しに関する記述について全面的に依拠することは控えるようお願い申し上げます。

1999

The Goodyear Tire & Rubber Company(グッドイヤー社)とタイヤ事業におけるアライアンス締結

2006

住友ゴムグループ「長期ビジョン」を発表

2003

オーツタイヤ(株)と合併。
SRIスポーツ(株)(現:ダンロップスポーツ(株))、
SRIハイブリッド(株)設立

2009

創業100周年

2010

ダンロップファルケンタイヤ(株)、
SRIハイブリッド(株)を統合

2012

長期ビジョン
「VISION 2020」を発表